



監査結果と措置状況を公表しています

平成28年度定期監査及び財政的援助団体等監査の結果、並びに指摘事項の措置状況報告は、市役所前掲示場で公表しましたが、市役所1階市民ロビーと市

ホームページでも閲覧できます。
監査執行者 登別市監査委員・三浦忠夫、木村俊子
執行期間 平成28年9月30日
監査の範囲 平成28年4月から平成28年9月までに執行された市の事務等や財政的援助団体等の平成27年度執行分

パブリックコメント（意見公募）の実施結果をお知らせします

「登別市空家等対策計画（案）」について平成28年12月1日から

問い合わせ 監査委員事務局
 (☎85)9230

30日まで意見を募集したところ、5件の意見が寄せられました。寄せられた意見とそれに対する市の考え方は、市ホームページに掲載しているほか、市役所1階市民ロビー、各支所、市民会館、しんた21、市立図書館、市立図書館アーニス分館、市民活動センター、都市政策グループ

プに閲覧ファイルを備え付けています。
問い合わせ 都市政策G
 (☎85)3230

3月11日のサイレン吹鳴について

東日本大震災の発生から6年が経過しようとしています。

市は、震災により犠牲となつた方を哀悼し、3月11日(土)14時46分から1分間のサイレン吹鳴を行います。市民の皆さんは、サイレンと同時に1分間の黙とうをお願いします。

問い合わせ 総務G
 (☎85)1130

アイヌ民族の遺骨を返還します

北海道大学、札幌医科大学は、各大学が保管しているアイヌ民族のご遺骨などのうち、身元の判明したご遺骨をお返しする手続きを開始しました。

※詳しくは問い合わせください。
問い合わせ 北海道大学アイヌ遺骨返還室 (☎0120-622-127)、札幌医科大学事務局

(☎0120-361-115)

医療費の削減にご協力ください

市の国民健康保険は、加入者が減少しているにもかかわらず、高齢化や医療の高度化、慢性的な疾患などにより、医療費が高水準で推移しているという厳しい財政状況となっています。また、医療費が増加すると、さらなる国民健康保険税の引き上げにつながる可能性があるため、市が推奨する医療費を抑える取り組みについて、皆さんのご協力をお願いします。

医療費の節約8つのポイント

1. なるべく同じ病院へ行きましょう

同じ病気でいくつもの病院に通うと、その都度、初診料がかかってしまいます。

3. 『かかりつけ薬局』を決めましょう

同じ薬の処方や誤った飲み合わせを防ぐことにつながります。

5. ジェネリック医薬品に切り替えましょう

先発医薬品と同等の効能効果を持つ医薬品で低価格なため、医師・薬剤師にご相談ください。

7. 生活習慣を見直し生活に運動を取り入れましょう

自覚症状がないときからの生活習慣病予防が大切です。

2. 『かかりつけ医』へ行きましょう

『かかりつけ医』とは、自分や家族の病歴などを把握している医師のことです。

4. 診療時間内に受診しましょう

休日や夜間診療は、医療費が高く設定されています。

6. 定期的に健診を受けましょう

病気の早期発見・早期治療は、体への負担が少なく早い回復が期待できます。

8. スイッチOTC薬を検討しましょう

特定健診などの受診による健康の維持増進や疾病予防の取り組みを行っており、スイッチOTC薬の年間購入額が12,000円を超えた方は、確定申告により税の軽減を受けられることがあります。

～スイッチOTC薬とは～

これまで、医師の判断でしか使用できなかった医薬品を薬局で購入できるようにしたものです。

問い合わせ 国民健康保険グループ (☎85)1771)

「申し込み」「問い合わせ」

中の「G」は「グループ」の略です